

Pair Letter

ペアレター

特集 褥瘡対策チーム

～快適な入院生活を送ってもらうために～

形成外科

身体表面の変形や損傷を

高度な技術と百を超える術式で美しく治療



認知症看護認定看護師紹介

「笑顔の連鎖を大切に」

連携登録医をご紹介

「ながと内科・皮膚科クリニック」

— 褥瘡対策チームの皆さん —

外来診療一覧 (R2.10.1現在)

詳細はホームページの各診療科の案内をご覧ください

発行元: 松戸市立総合医療センター 総務課

| | 診療科名 | 外来表(一般外来及び予約専門外来) | 備考 |
|------------------|------------------|----------------------------------|--------------------------------------|
| 内科系 | 内科 | 内分泌・代謝／アレルギー・リウマチ・膠原病／腎疾患 | |
| | 循環器内科 | 一般外来／ペースメーカー外来 | |
| | 呼吸器内科 | 一般外来 | |
| | 消化器内科 | 一般外来 | |
| | 脳神経内科(予約制) | 一般外来 | |
| | 血液内科 | 一般外来 | |
| | 緩和ケア(予約制) | 診察は外来主治医と相談 | |
| | 総合診療科 | 一般外来 | |
| | 皮膚科(完全紹介予約制) | 一般外来 | 月曜日休診 |
| | 化学療法内科(予約制) | 診察は外来主治医と相談 | |
| 外科系 | 外科・消化器外科・乳腺外科 | 一般外来 | |
| | 呼吸器外科 | 一般外来 | 火・金曜日休診 |
| | 心臓血管外科(予約制) | 一般外来 | 火・木・金曜日休診 |
| | 脳神経外科 | 一般外来 | |
| | 整形外科(完全紹介予約制) | 一般外来／小児整形／成人股・膝・肩・肘関節・手／側弯症／リウマチ | |
| | 形成外科(予約制) | 一般外来 | 水曜日休診 |
| | 眼科(完全紹介予約制) | 一般外来 | 火曜日・木曜日午後休診 |
| | 耳鼻いんこう科(完全紹介予約制) | 一般外来 | |
| | 泌尿器科 | 一般外来 | |
| | 産婦人科(予約制) | 一般外来／妊婦健診／不妊外来／コルポ外来 | |
| | 歯科口腔外科(完全紹介予約制) | 一般外来 | 月曜日手術日より初診のみ |
| | 小児 | 小児科 | 一般外来／小児神経／腎臓／アレルギー／呼吸器／血液／循環器／感染／内分泌 |
| 小児外科(月曜午後予約再来のみ) | | 一般外来 | 月曜日午前休診、水・金曜日休診 |
| 小児脳神経外科 | | 一般外来 | 月・水・木曜日休診 |
| 小児心臓血管外科 | | 一般外来 | 火・木曜日休診 |
| 新生児科(予約制) | | 一般外来／シナジス | 月曜日午後・火曜日午後休診 |
| その他 | 放射線治療科 | 一般外来 | 水曜日休診 |
| | 救急科(再来)(予約制) | 再来患者11:00～12:00 | |
| | 精神科 | 現在休診中 | |
| 特別外来 | 女性特別外来(予約制) | 一般外来 | 月曜日以外は休診 |
| | 禁煙外来 | 総合診療科外来へ | |
| | セカンドオピニオン外来(予約制) | 一般外来 | |
| | 母乳外来(予約制) | 産婦人科外来へ | |
| | ストーマ外来(予約制) | 人工肛門／人工膀胱(外科・泌尿器科外来または外来主治医へ) | |

松戸市立総合医療センター Matsudo City General Hospital

〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀993番地の1
TEL 047-712-2511(代) FAX 047-712-2512(代)

【診療】 月曜日～金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始は休診)

【受付時間】 初診: 午前8時30分～午前11時
再診: 午前8時～午前11時

【完全紹介予約制】は、地域の医療機関からの紹介状と事前の受診予約が必要です。

【予約制】は、事前の受診予約が必要です。(6ページを参照)



総合医療センター
QRコード

交通アクセス: 有料駐車場有(513台) 松戸駅・北松戸駅から新京成バス
馬橋駅・北松戸駅からゆめいろバス、新京成八柱駅からシャトルバス



身体表面の変形や損傷を
高度な技術と百を超える術式で美しく治療



ありかわ しゅんすけ
形成外科 部長 有川 俊輔
2004年千葉大学医学部卒業。君津中央病院、千葉大学附属病院、深谷赤十字病院、成田赤十字病院などを経て2014年より現職。
日本形成外科学会専門医、小児形成外科分野指導医、再建・マイクロサージャリー分野指導医。

形成外科は、小さなお子さんから成人まで年齢を問わず、頭のとっぺんからつま先まで、多彩な診療を行っています。小児への各種形成術や、顕微鏡下手術など、幅広い専門性を有する指導医が在籍する当診療科を紹介します。

似て非なるもの、形成外科と整形外科

形成外科と整形外科の違いをご存知ですか？ 整形外科は、主にからだを動かす筋肉や骨、関節、神経系の病気やけがの治療を目的としています。それに対して、形成外科は、身体の表面の疾患やケガなどによる変形を、機能だけでなく見た目もより美しく治療することを目的とし、皆さんの生活の質を向上させることに特化した診療科です。整形外科や皮膚科、耳鼻科、口腔外科など、多くの科の技術を礎として、近代において誕生した最も若い外科診療科でもあります。

どんな時に形成外科に診てもらおう？

形成外科では全身のあらゆる部位の皮膚、軟部組織が手術対象となり、形態が重視される顔面においては骨の手術も当科が中心となります。病気やケガなど、原因によらず、体表の変形や損傷にお困りの場合、まずは形成外科にご相談ください。患者さんそれぞれの問題に応じてオーダーメイドな治療戦略を練り、新しい術式の開発も常に研究しながら、「あきらめない」診療を徹底します。



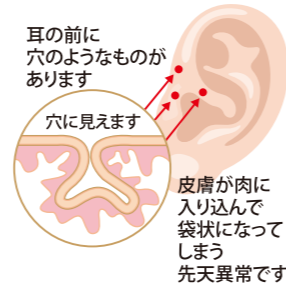
形成外科の皆さん(左から)林医師、有川部長、小野医師

くぐくぐ一部の代表的な疾患・術式を紹介

先天性耳瘻孔・耳瘻管摘出術

生まれつき耳の周囲に小さな穴が開いている状態です。穴の中は管または袋状になっていて、その先端はほとんどの場合、耳介軟骨で終わっています。

【治療方法】 耳瘻孔は自然閉鎖しません。放置した場合、いつか感染を生じるリスクを負うことになり、苦痛を伴う緊急処置が必要となる可能性があります。感染に対する抗生剤治療は一時しのぎに過ぎず、炎症を繰り返していると根治術の難易度が上がり、傷あとが大きくなります。1歳以降、炎症を起していないうちに早期に手術を行うことが理想です。



唇口蓋裂手術

唇や歯ぐき、口の中の天井部分に割れ目が残ったまま赤ちゃんが生まれてくる疾患です。見た目の問題に加えて、哺乳が困難となったり、中耳炎にかかりやすくなることもあります。また、言葉の発達が遅れたり、歯並びにも影響を及ぼすのがこの疾患の特徴です。

【治療方法】 唇口蓋裂の術式は極めて精密で、その切開デザインは1ミリのズレも許されません。裂のサイズと存在する部位、成長時期によって必要な術式が異なり、複数回の手術を行うことで出来る限り正常な形態の再建を目指します。手術治療と並行して言語のトレーニングや歯科矯正治療を行う必要もあり、耳鼻いんこう科や歯科口腔外科、言語聴覚士など他科との連携により総合的に治療を行っています。

交通事故などで鼻、頬骨、顎骨などが折れて変形してしまった際に、当科が手術を行います。脳神経外科や歯科口腔外科と連携し、慎重な診療を行います。

眼瞼下垂症手術

眼瞼下垂症とは、上まぶたが十分に上がらない状態のことです。筋肉と眼瞼板は、腱膜という組織で繋がっています。加齢による腱膜のたるみや、皮膚のたるみ、筋肉の衰えなどがまぶたを上りにくくする原因です。これにより物が見えにくくなり、眠そうな印象を与えるだけでなく、頭痛、肩こりの原因になることもあります。

手術方法

下垂の原因に合わせて、以下の代表的な術式を選択、あるいは組み合わせることで改善を図ります。
拳筋前転術 Ⅱ 腱膜を眼瞼板に縫い付ける手術です。上まぶたの皮膚を切開し、たるんだ腱膜を前方に引っ張り、糸で眼瞼板に縫い付けます。



前頭筋吊り上げ術 Ⅱ 眼瞼拳筋の機能低下が強く、拳筋前転術では改善できない重度の眼瞼下垂症に対して主にを行います。太ももの筋膜やゴアテックスシートなどを用いて眼瞼板とおでこの筋肉をつなぎ合わせる手術です。
余剰皮膚切除術 Ⅱ 余剰して垂れさがった皮膚を切除する方法です。上まぶたの皮膚を切除する場合、眉毛の下にある皮膚を切除する場合があります。

顔面骨折

交通事故などで鼻、頬骨、顎骨などが折れて変形してしまった際に、当科が手術を行います。脳神経外科や歯科口腔外科と連携し、慎重な診療を行います。

良性・悪性腫瘍の切除と再建

イボや皮膚がんなどの手術により皮膚の表面を大きく切除した場合、皮膚移植や皮弁形成術といった、専門的技術を用いて形態を再建します。乳がんなど、専門科が切除した後に形成外科が引き継ぎ、再建を行うこともあります。

手術実績

令和元年度実績(平成31年4月～令和2年3月)

| 手術名 | (件) | 手術名 | (件) |
|-----------|-----|-----------------------|-----|
| 腫瘍摘出手術 | 172 | 眼窩骨折観血的手術 | 7 |
| 耳介先天奇形手術 | 42 | 頬骨骨折観血的整復術 | 6 |
| 小児外傷 | 21 | 顔面多発骨折観血的手術 | 3 |
| 多指症・合指症手術 | 18 | 植皮術 | 33 |
| 唇口蓋裂手術 | 3 | 上肢の血管・神経損傷に対する顕微鏡下吻合術 | 9 |
| 尿道下裂形成手術 | 2 | 動脈皮弁術、遊離皮弁術 | 3 |
| 眼瞼下垂症手術 | 24 | 陥入爪手術 | 13 |
| 眼瞼内反症手術 | 4 | その他 | 49 |
| 鼻骨骨折徒手整復術 | 8 | 合計 | 417 |

褥瘡対策チーム

「快適な入院生活を送ってもらうために」

当院には長期入院を余儀なくされる重症な患者さんが多く入院されています。快適な入院生活を送っていただくためには褥瘡予防は大変重要です。各分野の専門的な知識をもつスタッフが連携を取りながら、最善のケアを提供しています。

褥瘡ってなんのこと？

褥瘡は「床ずれ」とも呼ばれます。

- ① 外力：圧迫やずれ、摩擦
 - ② 湿潤：おむつ着用、失禁による蒸れ
 - ③ 栄養：食事摂取量の減少
 - ④ 自立：自分で寝返りをうつたり、姿勢を変えることが困難
- この4つの要因が複雑に絡み合っ、骨が飛び出している箇所や、身体の下になるところに血流が悪くなることでできる傷です。最近では、頸椎カラーやギプス、弾性ストッキング、気管チューブなどを装着している部位に圧迫が加わってできた傷も褥瘡とされています。



皮下に達した深い褥瘡(重度)



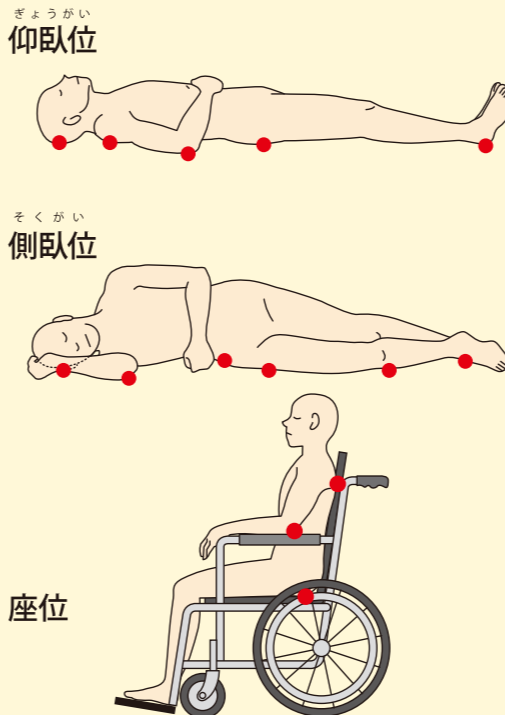
表皮がめくれた浅い褥瘡(軽度)



褥瘡はすり傷とはちがう！

見た目は、浅く皮膚表面だけの傷のように見えても、**実は皮膚の奥にダメージが及んでいる**ことがしばしばあり、治療を開始してもどんどん悪くなっていくことがあります。予防を怠ると簡単にできてしまい、1度できると治るのに時間を要するのが褥瘡の特徴です。

《褥瘡のできやすいところ》



褥瘡対策チームのメンバーと役割

医師(形成外科、皮膚科)

治療方針を決定し、診療に当たる。

専任看護師(リンクナース)

病棟ごとの褥瘡傾向をつかみ、相談、指導的な役割を担う。

理学療法士

患者さんの日常生活状況をチーム内で共有し、褥瘡の状況に合わせて運動やポジショニングの提案などを行う。

管理栄養士

必要栄養量の算出や食事内容等を検討。また、栄養サポートチームと情報を共有し、栄養面からのサポートを行う。

薬剤師

褥瘡治療に使用されている薬剤が適切か、副作用は出ているか等を確認。

皮膚・排泄ケア認定看護師

患者さんへ最善のケアを行えるように、褥瘡管理者として褥瘡発生などに関するデータ管理も行う。



「褥瘡発生ゼロ、持ち出し褥瘡ゼロ」を目指した褥瘡対策チームの活動

●褥瘡発生 ゼロ

入院患者さん全員を対象に、事前に「褥瘡危険因子評価」を行い、褥瘡発生の危険性に早く気づき、マットレスを選んだり、皮膚の清潔と保護、栄養管理などの対策を取っています。特に褥瘡ができる危険性が高い患者さんには、チームでカンファレンスを行い予防ケアを検討しています。また、ICU全床にエアマットを導入し、入院直後から褥瘡予防ケアが開始できるように療養環境を整えています。

●持ち出し褥瘡 ゼロ

褥瘡が治る前に退院や転院になる患者さんや、入院時にすでに重度の褥瘡が形成されていて、治療に時間を要する患者さんが増加しています。自宅や療養先に褥瘡を持っていかないように、1日でも早く褥瘡を治すことが必要です。チームで患者さんのベッドサイドを訪問(褥瘡回診)し、全身状態や栄養状態の把握、褥瘡ケアのアドバイスをし、早期治療を目指しています。



チームの要！

リンクナースの活動

褥瘡の発生原因は、年齢や疾患によって異なります。そのため各病棟から1名をリンクナースとして選出し、月1回の勉強会や症例検討会を開催しています。褥瘡対策の知識を深め、看護ケアに活かしています。

皮膚・排泄ケア認定看護師による

皮膚トラブル 予防ケアのポイント！

日ごろから、皮膚の清潔を保ち、ローションタイプやクリームタイプの保湿剤でケアを行うことで、皮膚トラブルの予防になります！



褥瘡対策チームの皆さん

連携登録医をご紹介します

長門文子先生の医師を志したきっかけは、曾祖父が医師で、理系進学に特化した女子高に在籍していた中、医師を目指すのは必然でした。千葉大学医学部卒業後、第二内科に入局。ここで時永先生、田代先生、海辺先生とご一緒させて頂きました。膠原病の診療研究を経て皮膚科医局で研修後皮膚科専門医になりました。



ながと内科・皮膚科クリニック

所在地：松戸市小金原4-9-19
電話：047-309-7011
診療科：内科、皮膚科
<https://satsukikai-nagato.jp>

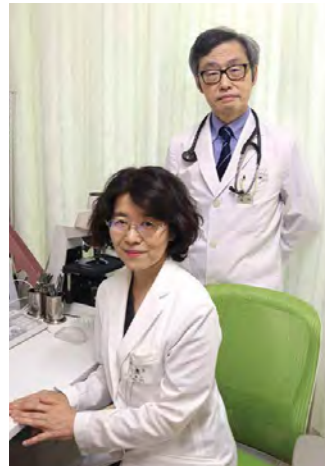


クリニックQRコード

| 時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日祝 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|----|
| 9:00~12:00 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | 休 |
| 15:00~17:00 | ○ | ※ | ○ | 休 | ○ | 休 | 休 |

※皮膚科は午後完全予約制

「かかりつけ医として患者さんを支え、地域医療に貢献する診療所やクリニック。今回は、当センターの連携医の中から「ながと内科・皮膚科クリニック」の皮膚科をご紹介します。



(右)院長 長門義宣(内科)
(左)副院長 長門文子(皮膚科)

患者さんへ一言
皮膚科のお悩みは、お一人で悩まず、是非、皮膚科にご相談ください。

患者さんの傾向
皮膚の痒み、湿疹、蕁麻疹、帯状疱疹、にきびなどさまざまな年代の方の身近な疾患を診療しております。ご年配の方の中にボーエン病や基底細胞上皮腫などの皮膚がんを見つけたる事があり、この時は医療センター形成外科の先生に手術をお願いし、大変お世話になっております。
力を入れている治療：心がけていること
湿疹、かぶれのために受診される方の中には、さまざま全身疾患が関係することもあります。当院でもある程度の検査はできますが、さらに精査が必要な時に設備の整った医療センターはじめ市内基幹病院と連携させていただいております。先入観なくきちんと皮膚を見ることを心がけております。また、塗り薬だけでは治りにくい湿疹や皮膚病には、光線の治療も行っております。

認知症看護認定看護師 田口 紀子

～笑顔の連鎖を大切に～



① 役割

認知症は、環境の変化が症状に影響することがあります。そのため、認知症看護認定看護師は、患者さんが安心して入院治療を受けながら過ごせるように、場所や医療者なども含めた環境を調整します。また、認知機能の低下により、自分の考えを思い通りに言い表せなくても、どのような思いを感じているのか、どうしたいと考えているのか、ご本人の価値観や思いを尊重し、より良いケアを考え続け実践につなげます。

② 活動内容

多職種により構成したチームとともに、それぞれの専門的視点から患者さんを中心としたケアの普及に取り組んでいます。病棟の看護師から、入院患者さんのケアに関する相

外来を受診される方へ

診療科により、紹介制や予約制を設けておりますので、受診の際はお電話または診療科のホームページをご覧ください。



※1 以前当院を受診した方でも初診になる場合があります

- ・診療を受けていた病気が治癒した後、新たな病気について診療を受ける場合
- ・予約日に受診せず、任意に診療を中止し、一定期間経過した場合

※2 初診の予約方法

- ・かかりつけ医から紹介状を受け取り、患者さんがお電話で予約をする方法 (お手元に紹介状をご準備ください)
- ・かかりつけ医からFAXで予約をする方法

※3 次の場合は選定療養費のご負担はありません

- ・救急車で当院に搬送された方
- ・生活保護による医療扶助の対象となる方
- ・特定疾患など各種公費負担制度受給対象の方
- ・労働災害・公務災害で受診の方
- ・今回受診する診療科は初めてだが、別の診療科に通院中の方

談を受け、症状に合ったケアの提案や多角的な意見交換を行い、良いケアの実践とそのきっかけづくりをしています。

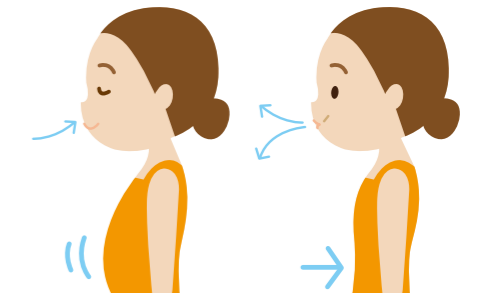


③ 市民の方へ一言

加齢やその他の原因で認知機能が低下し、忘れてしまうことや覚えられないことがあったとしても、人と人が支え合いながら記憶に残っていることを活かし、馴染みのある環境で安心して暮らせることは、認知症の発症や進行の予防に大切です。認知症のある方が笑顔で過ごせると家族や支援者も安心し、家族や支援者が笑顔だと認知症のある方も安心できます。地域の皆さんと笑顔の連鎖を引き起こしましょう。

腹式呼吸でリフレッシュ

皆さん、マスクをしている時、自然に呼吸が浅くなっていませんか？ 呼吸が浅くなると、ストレスも溜まりやすく体調を崩しやすくなります。是非、腹式呼吸で自律神経を整え、気分転換を試みませんか？



ゆっくりと鼻から大きく息を吸い込む。
お腹をへこませながらゆっくり息を吐き出す。
これを5分程繰り返す。